

防府のNPO

設立に助成金

損保ジャパン財団

損保ジャパン記念財団が十七日、下関市豊前田町、損保ジャパン山口支店で、防府市のバリアフリーの会に特定非営利活動(NPO)法人の設立資金として助成金三十万円を贈った。写真。

同支店の梅崎俊郎支店長が「社会的に認知された立派な法人になるよう祈念しています」と手渡し、バリアフリーの会の山下陽平さんは「支援のお気持ちを大事にして活動したい」と話していた。

同財団は毎年、百の障害者・高齢者福祉団体にNPO設立資金を贈っており、今年も県内では同会が助成対象になった。

バリアフリーの会は身体・知的障害者が社会的な接点を持つチャンスを作ろうと始まった。体験キャンプ、高齢者・障害者のグループホームの研究、紙の原料ケナフの栽培に取り組んでいる。

境港の「誠道ふるさと塾」に
NPO 設立資金を助成

損保ジャパン記念財団



竹井支店長から目録を受け取る長谷さん(右)

特定非営利活動法人「長、約百人」は通称「誠道ふるさと塾」は、障

害者・高齢者福祉団体に

対してNPO法人設立の

誠道宅老所(長谷正信所

長、約百人)は通称「誠道ふるさと塾」は、障

害者・高齢者福祉団体に

対してNPO法人設立の

ための助成をしている損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)から、三十万円の助成を受けた。

誠道ふるさと塾は、境港市誠道町を中心に六十歳以上の町民らでつくる団体で、手芸教室やパン作り教室などのクラブ活動を通して塾生同士の交流を深め、健康的な生活づくりを目指している。九月に県にNPO法

人の申請をし、十一月末の認証を控えている。

この日行われた贈呈式では、損保ジャパン鳥取支店の竹井治久支店長がふるさと塾の長谷さんに目録を授与。長谷さんは「助成金をもらったことに恥じないよう、関係者と一緒に協力して地域のために頑張りたい」と話していた。

介護施設に支援金

損保ジャパン記念財団

全国の特定非営利活動法人(NPO法人)の設立を支援しようと、損保ジャパン記念財団が二十四日、お年寄りの共同介護施設「久米の家」(松江春日町、松浦幸子代表)に設立資金三十万円を贈った。

同財団は一九七七年に設立し、九九年からは民間の福祉活動を推進するため、全国の百団体にNPO法人設立資金を助成してきた。本年度は二百八十五団体から申請があり、島根県からは同団体が選ばれた。

この日は、松江市御手船場町の損害保険ジャパン島根支店で、吉岡健治支店長から松浦代表に助成決定通知書が送られた。松浦代表は「高齢者が元気で明るく過ごせる施設になるように努力したい」と話した。

福祉施設に
30万円贈呈
損保ジャパン
(理事長・有吉孝一前安田
火災社長)は二十五日、高

松市紺屋町の損保ジャパン高松支店で、小規模通所作業所のCsクリエイション(普通寺市)にNPO法人設立の助成金として三十万円を贈呈した。
NPO設立助成は、一九七七年から同財団が行っている社会貢献活動の一環で、三年前にスタート。毎年、応募があった全国の高齢者・障害者福祉団体から百団体を抽出し、各三十万円を助成している。県内では今回が初めて。
贈呈式では、同財団を代表して渡辺一孝支店長が「障害者の社会参加に役立ててください」とあいさつ。目録を受け取った同作業所の平田武事務局長は「施設の規模を拡大させて、よりよい支援ができるようにしたい」とお礼を述べた。

伊野町の2団体に
NPO設立助成金
損保ジャパン記念財団
(有吉孝一理事長)と損保
ジャパン環境財団(後藤康
夫理事長)は25日までに、
吾川郡伊野町内の2団体に
NPO(民間非営利団体)
法人設立助成金を贈ること
を決めた。
記念財団は民間福祉活動
を、環境財団は地球環境保
全活動をそれぞれ推進する
ため、全国で地域活動して
いる団体のNPO法人化に
対して助成(1件30万円)
する。
14年度は全国115団体への
助成が決まり、本県からは
福祉関係で伊野町天王南6
丁目の「高知県に富山方式
のデイサービスをつくる
会」(高橋潔代表)、環境
関係で同町枝川の「ゆうぎ
リサイクル高知」(安井隆
次代表)が選ばれた。助成
金は29日に贈呈される。

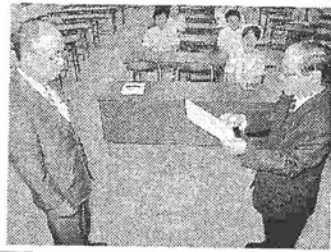
寄付・寄託
損保ジャパン記念財団
(東京)はこのほど、県内
の病院や福祉施設に鉢植
えの寄付活動をしている
小松島市のポランティア
グループ・ぴゅあねっと
に、NPO(特定非営利
活動)法人新設助成金30
万円を贈った。徳島市か
ちどき橋1の損害保険ジ
ャパン徳島支店で久保隆
支店長(写真)が同グル
ープの笹本裕人代表に
目録を手渡した。同グル

ープは1999年に結成
し花を育てたり観賞した
りすることにより心や体
のリハビリを旨とする
療法に取り組んでいる。



NPO法人 篠栗の福祉団体に 設立助成金

民間の社会福祉団体に 民間非営利団体(NPO) 法人の設立資金三十万円を助成している損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)の本年度の助成団体に、篠栗町金出の三野原病院内にある「シニ



アライフ・サポートセンター福岡(綾部明人代表)が決まり、十七日、通知書が贈られた。写真

シニアアライフは、三野原病院の旧病院跡(同町篠栗)の三、四階部分を

拠点に、高齢者や障害者への食事宅配や移動介助、有料老人ホームの開設(来年四月予定)などを行う予定にしている。

三野原病院内であった贈呈式では、損保ジャパンの野田健・福岡中央支店長が「地域の社会福祉の向上に貢献してほしい」とあいさつし、綾部代表に助成決定通知書を手渡した。綾部代表は「お年寄りらが住み慣れた地域で健やかに生活することをサポートし、助成金は有効に活用したい」と感謝した。

県内では宗像市日の里の「むなかた介護サービス研究会」(大林京子代表)にも助成金三十万円が贈られた。

福祉団体に助成金

佐賀市 大和町

損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)は二十一日、本年度の社会福祉助成団体として大和町の「ふれあいネットサガズ」(大田卓生代表)に対して助成金三十万円を贈った。贈呈式は佐賀市の同佐賀支店で行わ



三戸潔支店長から助成金を受け取る小松洋平さん(右)＝佐賀市の損保ジャパン佐賀支店

れ、三戸潔支店長から小松洋平事務局理事に目録が手渡された。

小松理事は「NPOを取得し、障害者に対する地域の理解をより深めた」とお礼を述べた。

「サガズ」は、精神障害者の交流施設の運営、地域との交流、小規模模産活動を行っており、今回の助成金で団体の社会的認知と事業活性化のために、NPO(民間非営利団体)法人取得に使われる。

業界短信

▽損保ジャパンが寄付 損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)はNPO法人化への助成事業として、福祉ネットワー



クおきなわ(平喜美子理事長)に社会福祉助成金30万円を寄付した。写真

同財団は、高齢者・障害者福祉団体を対象に助成事業を行っており、贈呈式で浅場沖繩支店長は「法人格の取得により、一層活発な活動が展開され、地域の社会福祉が向上することを期待します」とあいさつ、平理事長は「寄付金は宮古や八重山の人材育成・技術提

供に活用したい」と抱負を述べた。

●NPO法人設立助成金の贈呈式 25日、花畑町の損害保険ジャパン熊本支店であり、檀原彰支店長が県内の民間グループ3団体の代表者に損保ジャパン記念財団と同環境財団の助成決定通知書を手渡した。助成金は1団体に30万円。団体は次の通り。

▽知的障害者を支援する「障害者共同作業所トライハウス」(熊本市、北岡司代表)▽精神障害者を支援する「NPO法人イルカの会準備会」(同、松本正隆代表)▽白川の環境保護に努める「しらかわアシエンタDC21」(同、岩尾隆雅代表)

みなみ風



◎ 損保ジャパン NPOに助成

損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)はこのほど、宮崎市の損保ジャパン宮崎支店(飯田裕久支店長)を通し、特定

非営利活動法人(NPO法人)の「ひなたぼっこ」の会(時任博之代表)と「自立する高齢社会を考える会」(篠原一郎会長)に、助成金計60万円を贈った。写真。

飯田支店長が「地域の社会福祉の向上に貢献することを大いに期待する」とあいさつ。両団体の代表にそれぞれ30万円の目録を手渡した。

「ひなたぼっこ」の会は歩行困難者の外出支援と24時間訪問介護を中心に活動している。「自立する高齢社会を考える会」は、高齢者が誇りを持って自立し、元気に住めるコミュニティーづくりを目指す活動団体。